

基幹システム再構築に伴うデータカタログの構築【会場】 (4125240)

システムを構築する究極の目的は経営に必要なデータを獲得するためです。企業の成長に伴い管理すべきデータは膨大になっています。基幹システムの再構築に伴い企業が管理するデータを一元管理する仕組みを導入することが望まれます。データカタログは、企業内のデータに関する情報を集約し、一元化して管理するためのものです。データに関するデータ（メタデータ）を文書化し、利用者が容易に検索・参照できるようにします。本セミナーは失敗しないデータカタログの構築のノウハウを学ぶものです。

開催日時	2025年10月3日(金) 10:00-17:00会場
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(レガシーシステム再構築)
カテゴリー	IS導入(構築)・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術): データ
講師	中山嘉之 氏 (株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン(現:協和キリン) 情報システム部長) 1982年より協和発酵工業(現・協和キリン)の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。
参加費	J U A S 会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	基幹系システムの再構築の構想策定やDXのための基幹系のモダナイゼーション戦略の作成に関与される方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ(オンラインなし)

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

システムを構築する究極の目的は経営に必要なデータを獲得するためです。

企業の成長に伴い管理すべきデータは膨大になっています。

基幹システムの再構築に伴い企業が管理するデータを一元管理する仕組みを導入することが望まれます。

データカタログは、企業内のデータに関する情報を集約し、一元化して管理するためのものです。

データに関するデータ(メタデータ)を文書化し、利用者が容易に検索・参照できるようにします。

本セミナーは失敗しないデータカタログの構築のノウハウを学ぶものです。

◆主な内容

■データカタログの必要性

- ・データカタログとは
- ・データカタログが必要な背景
- ・システム管理システムの必要性

■データカタログの管理対象

- ・メタデータの種類と役割
- ・メタデータの管理項目

：ビジネスメタ、システムメタ、オペレーショナルメタ

■ビジネスメタデータの作成

- ・はじめにデータモデルありき
- ・ビジネスメタデータ定義の書き方

：エンティティ定義、データ定義、ドメインデータ定義

■システムメタデータの作成

- ・実装システムからのキュレーション
- ・システムメタデータとビジネスメタデータの紐付け
- ・データリネージの作成と管理

■データカタログの利用

- ・データサイエンティストによる利用
- ・システム・アーキテクトによる利用
- ・システム・エンジニアによる利用

■データカタログの運用保守

- ・データマネジメントの管理体制
- ・データカタログ利用状況のモニター
- ・データカタログのメンテナンス

■データカタログ実装ツールの紹介

■データカタログに関する今後の課題